

# 小浜市森林整備ロードマップ(整備方針)

## 【策定の目的】

小浜市内の森林資源分布や木材生産適性を評価し、短・中期的（令和 8 年度～令和 15 年度）な森林整備ロードマップを策定する。

この森林整備ロードマップは、年度毎に重点的に施業集約化を行い、森林整備事業を実施していくものである。

・科学的根拠に基づく敵地評価

森林資源の量や路網条件、公益的機能を客観的に数値化し、効率的な木材生産が可能なエリアを明確にする。

・施業の集約化と効率化

年度毎に重点エリアを定め、分散的に行われていた整備を集約させることで、コスト削減と事業のスピードアップを図る。

・合意形成の加速

住民座談会等を通じて、森林所有者との合意形成を丁寧に行い、木材生産のみならず、多角的な森林活用を推進する。

## 【調査・評価指標】

・福井県森林簿（令和 6 年度版）を活用した机上調査を実施し、  
以下 3 つの評価指標について、調査・評価を実施し点数化した。

≪評価指標≫

- ①森林簿上の資源量
- ②木材搬出の容易さ
- ③森林の公益的機能

地区	資源量平均 1～4点	木材搬出難易度平均 1～4点	森林の公益的機能平均 0～2点	評価点平均 1～10点	評価点平均順位
中名田地区	3.8	4	0.9	8.7	1
宮川地区	2.1	3	1.5	6.6	2
遠敷地区	2.7	3	0.6	6.3	3
加斗地区	2.6	2	1	5.6	4
内外海地区	1.2	4	0.2	5.4	5
国富地区	1.8	3	0.5	5.3	6
松永地区	3	1	1.2	5.2	7
口名田地区	3.2	1	1	5.2	7
今富地区	2.5	2	0.2	4.7	9

表 1

## 【総合評価(結果)】

・総合評価（評価点平均）の最も高い地区は中名田地区。  
・次いで宮川地区、遠敷地区の順に続く。（表 1 のとおり）

## 【今後の展開(森林整備ロードマップ)】

・総合評価の高い地区から順次整備に着手する。（表 2 のとおり）  
・初年度に施業範囲や集約化する箇所等の調査を行い、次年度から整備に着手する。

	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度	令和 1 2 年度	令和 1 3 年度	令和 1 4 年度	令和 1 5 年度	令和 1 6 年度 以降
中名田地区	集約化	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備			
宮川地区		集約化	森林整備	森林整備					
遠敷地区			集約化	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備		
加斗地区				集約化	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備	集約化・森林整備	
内外海地区						集約化	森林整備		
国富地区							集約化	森林整備	森林整備
松永地区							集約化	集約化・森林整備	集約化・森林整備
口名田地区								集約化	森林整備
今富地区									集約化

表 2